

送りがな

「考える」「多い」「用いる」「自ら」の——線部のように、漢字の下につづけて書くかなを、「送りがな」といいます。

漢字の読み方によって、送りがながかわるものもあるので、漢字を正しく読むためにも、送りがなには気をつけましょう。

(れい)

交

線と線が交わる。
上級生に下級生が交じる。

細

あのぼうは細い。
つぶが細かい。

苦

苦い薬を飲む。
苦しいときの神だのみ。

行

学校に行く。
入学式を行う。

通

犬が目の前を通る。
ピアノ教室に通う。

開

門が開く。
まどを開ける。

生

強く生きる。
子犬が生まれる。
草が生える。

明

夜が明ける。
明るい部屋だ。
真実が明らかになる。



線のカタカナを上の漢字と送りがなで書こう。

① 明

光がアカルイ。

② 明

アキラカダ。

③ 明

夜がアケル。

④ 苦

葉がニガイ。

⑤ 苦

走ったので、息がクルシイ。

⑥ 生

ぼくらはみんなイキテイル。

⑦ 生

くまの子どもがウマレル。

⑧ 生

草がたくさんハエル。

⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①



送りがなが合っているものには○、まちがっているものには×をつけよう。

① 明^{あか}るい

② 交^{まじわ}る

③ 通^{とお}る

④ 細^{こまか}い

⑤ 苦^にがい

⑥ 生^はえる

⑦ 苦^くるしい

⑧ 行^{おこな}う

⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①



線のカタカナを上の漢字と送りがなで書こう。

① 苦

この葉はニガイ。

② 苦

とてもクルシイ。

③ 生

地面から草がハエル。

④ 生

子馬がウマレル。

⑤ 生

みんなイキテイル。

⑥ 明

夜なのにアカルイ。

⑦ 明

夜がアケル。

⑧ 明

それはアキラカダ。

⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①



送りがなが合っているものには○、まちがっているものには×をつけよう。

① 明^あかるい

② 交^{まじわ}る

③ 通^とおる

④ 細^{こま}かい

⑤ 苦^{にが}い

⑥ 生^はえる

⑦ 苦^{くる}しい

⑧ 行^{おこ}なう

⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①



線のカタカナを上の漢字と送りがなで書こう。

① 明

とてもアカルイ。

② 明

それはアキラカダ。

③ 明

夜がアケル。

④ 苦

ニガイ葉を飲む。

⑤ 苦

たくさん食べて、クルシイ。

⑥ 生

ぼくらはみんなイキテイル。

⑦ 生

きりんの子がウマレル。

⑧ 生

土から草がハエル。

⑨ 開

とびらがヒラク。

⑩ 開

部屋のまどをアケル。

⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①



線のカタカナを上の漢字と送りがなで書こう。

① 明

部屋の中がアカルイ。

② 明

これはアキラカダ。

③ 明

夜がアケル。

④ 苦

この薬はとてもニガイ。

⑤ 苦

クルシイときの神だのみ。

⑥ 生

みんなイキテイル。

⑦ 生

リスの子がウマレル。

⑧ 生

草がハエル。

⑨ 開

おしろの門がヒラク。

⑩ 開

箱をアケル。

⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①

1 送りがなを書こう。

① かんがえる

考

--

② あかるい

明

--

③ おおい

多

--

④ もちいる

用

--

2 □にあてはまるひらがなを書こう。

は	生	え	①
い	②		
	る		

に	が	③
く	④	
る	い	

④	③	②	①

④	③	②	①

1 送りかなを書こう。

① まじわる

交

② おこなう

行

③ はえる

生

④ みずから

自

2 □にあてはまるひらがなを書こう。

あ

あか

明

①

る

②

い

ほそ

いし

細

③

④

い

④	③	②	①

④	③	②	①

1 送りがなを書こう。

① あきらか

明

② おこなう

行

③ みずから

自

④ もちいる

用

2 □にあてはまる漢字をあとからえらんで書こう。

①	え	る
ま		
れ		
る		

②	①

④	③	②	①

②	る
う	

（ 苦 生 自 細 通 ）